

和歌山県看護連盟 連盟だより

つれもて

第70号

発行者
和歌山県看護連盟
和歌山市太田4-11-18
リベラルパレス太田501
電話 073-488-6575
FAX 073-488-6580

発行責任者
石橋 隆子

令和4年度 通常総会に向けて



参議院 自民党比例代表(全国) 組織内候補予定者 とものお りお(友納 理緒)

2022・5 CONTENTS



「ごあいさつ」	和歌山県看護連盟 会長	石橋 隆子 …	2
「ご挨拶」	公益社団法人 和歌山県看護協会 会長	東 直子 …	2
「県議会議員の政治活動について」	和歌山県議会議員(橋本選挙区)	岩田 弘彦 …	3
「看護の明日をつくるために」	参議院 自民党比例代表(全国) 組織内候補予定者	友納 理緒 …	4～5
令和4年度 和歌山県看護連盟 通常総会プログラム			6
令和4年度 和歌山県看護連盟 研修計画			6
令和4年度 和歌山県看護連盟 事業計画			7～8
青年部 「活性委員会 役員紹介」「活動状況」			9
委員会活動紹介 「看護政策・組織拡大委員会」			10
都道府県別会議を開催して			11
2021年度 日本看護連盟通常総会に参加して			11
入会のご案内・編集後記 他			12



ごあいさつ



和歌山県看護連盟 会長 石橋 隆子

やっと本格的な春を迎え心弾む季節の到来です。しかし、ここ2年余りのコロナ感染症との共存生活に疲れているうえ、引き続きの予防が求められています。臨床でご活躍の皆様、特に地域でこの感染症対策のもと住民を支えて頂いている保健師や訪問看護に従事している看護職の皆様には感謝と敬意を申し上げます。

さて、第26回参議院議員選挙に向け具体的な活動開始です。連盟会員の皆様、各支部長中心に前回25回選挙より短期間の選挙運動期間ですが日ごろの連盟に於ける政治活動の延長で一人一人の力を発揮し、この選挙に向け大いに頑張りましょう！

今年度事業計画における行動計画は、何よりも7月に実施れる参議院議員選挙に向け看護の力を組織・政策委員会中心に情報交換し綿密な打ち合わせで確実な得票目標に向け行動を発揮することです。近年、コロナ感染症に関し看護職の働きに注目を得ている今、その働きに対する評価を上げることです。その為にもなにより看護職自らの政治力を示すことが重要です。次期職能代表の友納理緒氏の高得票当選実現にかかっています。共に頑張りましょう！



ご挨拶

公益社団法人 和歌山県看護協会 会長 東 直子

令和4年度和歌山県看護連盟の通常総会のご開催を心よりお慶び申し上げます。

この度、福島沖を震源とする地震により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。被災された皆様の生活が1日も早く平穏に復することをお祈り申し上げます。

長期化する新型コロナウイルスとの闘いは、予期せぬ変異を繰り返す動きもあり、予断を許さないものとなっております。看護職の皆様には、あらゆる場において県民の命と健康を守るためご尽力していただいていることに深く感謝申し上げます。

少子・高齢化社会を迎え保健医療体制が大きく変わろうとしています。そのような変化の中、看護職の役割拡大と期待は大きくなっており、看護職が力を発揮し働き続けられる環境を作ることが重要と感じております。和歌山県看護協会は、環境の整備に努めてまいります。

今回、看護職員の賃金引上げについて議論され、一定の賃金引き上げが決まりましたが、全ての看護職の賃金引き上げが実現するよう和歌山県看護協会は、看護連盟と一致協力して取り組んでまいります。

和歌山県看護連盟の今後益々のご発展と、会員の皆様のご健勝、ご活躍を祈念しまして、お祝いの言葉とします。



県議会議員の政治活動について

和歌山県議会議員（橋本選挙区） 岩田 弘彦

看護連盟の皆様には、ひとかたならぬご指導ご鞭撻を賜り、厚く御礼申し上げます。
皆様には、命の最前線で尊い使命を果たしていただき誠にありがとうございます。
長引くコロナ禍においても、強い社会的使命とあたたかい心で対応していただいておりますことに、心より感謝と敬意を申し上げます。

私をはじめ自由民主党和歌山県議団のメンバーは、知事と議会議員のそれぞれが、直接選挙で有権者を代表する二元代表制のもと、県民から選ばれた政権与党所属の県議会議員です。

国政は、国会議員により選ばれた総理大臣（政権与党の国会議員）が内閣を形成し運営される議院内閣制です。

東京一極集中の是正・地方創生などが重要な時代を迎え、私たち政権与党県議会議員は、地元選出の政権与党国会議員とともに、地方である和歌山県の課題や改善策など県民の意見を意見書にまとめ法的担保のもと現場の声を大きな声にして、国に提言しています。

県政においては、二元代表制のもと、共に住民を代表する長と議会が、お互いにチェックし合い、適度の緊張感とバランスを保ちながら、議会が長と対等の立場で、県の運営の基本的な方向性を決めたり、県の仕事をチェックしたり、また、積極的に政策の方向性を決めたりしています。

このことから、私たち県議会議員は、決定された予算や政策などを推進するとともに、「効果的に実施されているのか」「新たな課題がないのか」「改善の必要性がないのか」など、県民の皆様の声に常にアンテナを高くし活動しています。

看護連盟の皆様におかれましては、引き続き、顔の見える関係をもって現場の生の声をお聞かせいただき、ご指導ご鞭撻をお願い申し上げますとともに、皆様のご活躍と更なるご発展を心よりご祈念申し上げます。





看護の明日をつくるために



参議院 自民党比例代表（全国） 組織内候補予定者

ともものう りお（友納 理緒）

長期化するコロナ禍にあって、医療の最前線で日々懸命に看護をされている皆様に、心から敬意と感謝の気持ちをお伝えいたします。

このたび日本看護連盟通常総会で、次期参議院選挙組織内候補予定者としてお認めいただきました、ともものうりお（友納理緒）です。3月13日の第89回自民党大会では全国比例の公認候補者として紹介していただき、岸田総裁から直接「公認証」を賜りました。大変、身の引き締まる思いです。

私は高校生の時にフィリピンの「マザーテレサの家」のボランティア経験から看護師を目指しました。看護学生の時、臨床の忙しさを知り、その中でもひとたび医療事故が起これば、看護師もその責任を問われることがあるという現実にはショックを受けました。大きな医療事故の報道なども続き「看護職のちからになりたい」と弁護士になりました。その後、国会議員の政策秘書や2人の子を育てながら働き続けることの大変さも経験し、様々な課題を根本的に解決するためには、法律を変えなければならないと考えるようになり、このたび国政を目指すことを決意いたしました。

いま、オンラインなども併用しながら施設訪問を行い、現場の意見を聞かせていただいています。臨床では様々な業務改善が行われ、チーム医療の中で、素晴らしい看護が実践されています。一方で新たな課題も見えてきました。それは、いつ感染するかもしれないという緊張感と極度の疲労の中で、看護職が安全に安心して看護を続けるにはどうしたらいいのか、患者や家族からのハラスメントへの対応、また専門性と役割に見合った報酬が保障されているか、2040年を見据え、看護人材が減少する中でどう看護体制を整えていくのか、などです。

今後も皆様のご意見をしっかりと伺い、看護師と弁護士の知識と経験を活かしながら、制度や仕組みづくりなど看護政策の実現のため、精一杯の努力をしてまいりたいと思います。今後ともご指導、ご支援のほどよろしくお願いいたします。



第26回参議院選挙の比例代表に、看護の組織代表の

とも のう り お
友納 理緒さんが自由民主党から公認されました。

とも のう り お
友納 理緒さんをご紹介します。



Q1 看護師を目指したきっかけは？

17歳、フィリピンで。

高校時代にフィリピンの「マザーテレサの家」で、死を目前にした方々がシスターのケアによりとても穏やかな表情をされていて、「看護」という仕事に強く惹かれました。

Q2 看護師からなぜ弁護士に？

医療現場の課題にモヤモヤ。

看護実習に出て、看護師の忙しさを知りました。でも、いくら忙しくても事故が起きたらその責任を問われる現実。そのときに「看護の味方」になってくれる人はいるのかな？と考えたことがきっかけです。弁護士を目指し司法試験勉強中も、看護の現場に立ち続けました。

Q3 弁護士として心がけていたことは？

看護の原点を忘れずに。

トラブルの解決策を検討し、対外的には代理人となることで、少しでも看護師の負担を軽減できるようにと取り組んできました。

LINE とも のう り お
LINE 公式アカウント

友だち追加



Q4 今、国会という新しいステージを目指すのはどうして？

法律や制度を変えて、看護師の力になりたいから。

かつて3年間、衆議院議員の政策秘書を経験したときに、看護や医療にかかわる法制度を議論する最終局面に、看護師がいないことにびっくり。もっと看護師の力になりたいくて、法律や制度自体を変えることができる「立法」の世界に踏み出すことを決意しました。



コレ
私がつくったの



令和 4 年度 和歌山県看護連盟 通常総会プログラム

月日：令和 4 年 5 月 14 日 (土) 13 時～ 15 時 場所：勤労福祉会館プラザホープ 4 階ホール

12:30	開 場	
12:55	オリエンテーション	
13:00	開 会 物故会員への黙祷	
	挨拶	和歌山県看護連盟 会長 石 橋 隆 子 日本看護連盟会長 会長 大 島 敏 子
13:15	議長団選出	
	報告事項	1) 令和 3 年度和歌山県看護連盟通常総会報告 2) 令和 3 年度日本看護連盟主催会議報告 3) 令和 3 年度近畿ブロック協議会主催会議報告 4) 令和 3 年度県役員・委員会委員合同会議報告 5) 令和 3 年度和歌山県看護連盟並びに支部並びに青年部活動報告 6) 令和 3 年度和歌山県看護連盟研修並びに役員研修報告 7) 令和 4 年度和歌山県看護連盟並びに支部並びに青年部事業計画 8) 令和 4 年度和歌山県看護連盟研修計画 9) 選挙対策について
	審議事項	第 1 号議案 和歌山県看護連盟規約改正 第 2 号議案 令和 3 年度決算報告並びに監査報告 第 3 号議案 令和 4 年度スローガン(案) 第 4 号議案 令和 4 年度収支予算(案) 第 5 号議案 令和 4 年度役員選出(案)
	役員紹介	令和 4 年度新旧役員 紹介・挨拶 綱領宣言
15:00	閉 会	



進行上の都合により、時間が変更となる場合があります。



令和 4 年度 和歌山県看護連盟 研修計画

(状況に応じてハイブリット形式の可能性あり)

日 時	研修会名	ね ら い	内 容	講 師	場 所	対 象	参加人数	締切
1 5月21日(土) 13:30~15:00	生きること・死ぬこと癒しの音楽	住職さんの法話と癒しの音楽	テーマの法話とギター等を弾き語りながら心安らぐ音楽	聖徳寺 関守 研悟	海南 ノビノス	看護連盟・一般	200名	5/10
2 8月27日(土) 13:30~15:00	笑いとヨガ	心身のリラクゼーション	ヨガと笑いで体の疲れを取り除き活力を充電しよう	藤 島	看護研修センター	看護連盟・看護協会合同	80名	
3 10月15日(土) 13:30~15:00	メンタルヘルスケア	セルフメンタルヘルスを学ぶ	心のストレスのしくみを理解し、セルフケア法を学ぶ	武用 百子 大阪大学大学院教授	未定	看護連盟	200名	
4 12月10日(土) 13:30~15:30	聴くことと語ることの本当の意味	人材育成の為に必要な会話法を学ぶ	「妖怪人間ベムは永遠に笑わないー生きることの意味は間(あわい)にー」	佐藤 泰子 京都大学大学院	看護研修センター	看護連盟・看護協会合同	200名	
5 令和5年 2月 (土)	看護職からの政策提言	看護職の町会議員としての活動	看護政策実現のために、議員として活動することの意義や効果を学ぶ	松田 哲子 奈良県 下市町会議員	未定	看護連盟	100名	

令和4年度 和歌山県看護連盟 事業計画



重点方針

1. 見える活動

2. 行動する会員

3. 確かな組織づくり

目的	目 標	方 針	活 動	
政治力・政策実現力の強化	1. 看護職国会議員の選出・支援	1) 第26回参議院選挙における組織内候補者の当選	1) 組織代表友納理緒氏の高得点当選に向けて活動する	
		2) 看護職国会議員の確保	2) 次期衆議員選挙に向け岡山県看護連盟・島根県看護連盟等の支援を行う	
		3) 公職選挙法の遵守	3) ① 組織・政策委員会の活動計画に基づき選挙運動のための県別会議・リーダー研修等を実施する ② 選挙実践の手引きを活用しコンプライアンスに基づいた安全な活動を実施する	
		4) 組織代表議員活動の共有	4) 国政報告会や広報を活用し政策立案について共有する	
	2. 看護政策の実現	1) 和歌山県看護連盟の政策実現力の強化	1) ① 看護協会の重点政策について協会長の説明を受け、意見交換を実施する ② ブロック別看護管理者等政策セミナー、県別会議の開催参加で政策提言力の強化を図る	
		2) 現場の声の把握と改善	2) 日本看護連盟ホームページのアンケートフォームと研修時のアンケートを集約し参考に政策提言力の強化を図る	
	3. 看護を理解する国会議員の確保と支援	1) 県選出の国会議員との連携強化	1) 県選出国会議員の国政報告会に参加し、意見交換会を実施して連携を図る	
	4. 地方議会、地方行政への影響力の強化	1) 看護連等の活動の促進	1) 県会議員、県推薦の地方議員との連携強化を図る	
		2) 地方議員との情報交換と活動支援	2) 意見交換会の実施やまた選挙運動に協力、推薦状の贈呈	
		3) 地方議会、行政等との情報交換	3) 議会、行政への要望書の提出、行政の看護その他の政策について情報を得て意見交換会を実施する	
	5. 地方議員の擁立と支援	1) 地方議員候補者の発掘と育成	1) 県実施の議員育成セミナーの情報を若手連盟会員に提供する	
		2) 地方議員との連携強化	2) 議員の議会報告会に参加する	
	組織力の強化・拡大	1. 看護連盟・看護協会の連携・共同更なる推進	1) 和歌山県看護協会との連携強化	1) ① 役員・委員会委員合同会議にて協会からの活動報告を受けてその内容を共有する ② 組織代表 友納理緒氏への選挙活動の協力について連携する
		2. 広報活動の強化・充実	1) 会員に向けた広報活動の充実強化	1) 広報委員会中心に機関誌・ホームページの充実について検討する
			2) インターネットを活用した有効な情報発信	2) ホームページその他SNSの活用で会員間の情報の共有を図る
3) 選挙活動に有効なインターネット広報ツールの活用			3) 各種広報ツールについて青年部からの説明と指導を受ける	

目的	目 標	方 針	活 動	
組 織 力 の 強 化 ・ 拡 大	3. 看護連盟の活動の強化 及び周知徹底	1) 定例会議の有効利用と計画	1) 役員・委員会委員合同会議での各委員会活動の活発化について検討する	
		2) 自立した会員の育成を目指した 県・支部それぞれの研修実施	2) 支部独自の会員増に向けた研修実施に協力する	
		3) 新型コロナウイルス感染対策の 推進	3) ① リモートの活用 ② クラスタ発生施設への支援	
	4. 会員の確保対策	1) 会員目標1,400名とし協会員23 %の加入をめざす	1) 各支部活動の見える化に努め、協力し魅力ある連盟活動 を展開する	
		2) 学生会員の入会	2) 18歳以上の選挙権の活用について各学校への呼びかけ を青年部の協力を得て実施する	
		3) 連盟入会の促進・退会者の防止	3) 各支部から施設へ働きかけを行う	
		4) 会費納入の検討	4) 連盟本部へ会費課金システム検討の進捗状況公開を各ブ ロック会議を通じて請求し、支部長に伝達する	
	5. 和歌山県看護連盟の効 率的な運営	1) 合同会議に於いて支部長の意見 を常に取り入れ検討する	1) 合同会議での支部報告の充実について検討し、意見交 換を行う	
	6. ブロック協議会の活動 強化・促進	1) ブロック会議の参加	1) ブロック会長からの中央役員会報告を合同会議にて伝え る	
	7. 支部組織の活動の強 化・促進	1) 支部組織の強化・支部役員・リ ーダーの意識の強化	1) 各支部会議の定例化を図り、担当役員の参加でリーダー 意識の向上を図る	
8. 若手会員の育成	1) 青年部運営委員会の活動を支援 する	1) 青年部委員会への担当役員の参加で三役会議において情 報共有を図る		
	2) 選挙運動における青年部活動の 推進	2) 青年部役員を中心に若手会員の選挙運動への参加を勧め る		
9. 関係団体・関係組織と の連携・強化	1) 看護・介護との交流の推進	1) ① 訪問看護ステーション連絡協議会との交流 ② 介護福祉士会へ働きかけ ③ 精神科看護協会への働きかけ		
		2) 栄養士会・歯科技工士との交流と協力依頼		
会 員 の 福 祉 の 充 実	1. 災害への対応	1) 災害発生地への支援	1) 近畿ブロックとの情報を得る 2) 看護連盟・看護協会からの情報収集を行う 3) 災害支援への対応	
		2. 福利厚生への対応	1) 日本看護連盟内規に基づく対応	1) 慶弔、物故者への対応
		3. 諸問題への対応	1) 会員の安全の保証	1) コンプライアンスに基づく政治活動、選挙運動のための 情報交換を行う 2) 諸般の疑問・問題には、本部及び専門家と速やかに解決 する



青 年 部

活性委員会 役員紹介

和歌山県看護連盟 青年部 部長 古田 雄也

「私たち若手看護師がこの先も当たり前に見られる環境を作りたい。」

今、私たちが当たり前に見られる環境ができていないのはなぜなのかと、数年前から疑問に思うようになりました。

看護連盟に入会し、初めて看護師の歴史や政治と看護は繋がっていることを改めて学びました。

また、青年部全国ブロック会議などで、全国にいる想いを共有した仲間との繋がりを持つことができ、日本各地に看護を支えていく、現場の声を国政に届けていくという思いをもった若手看護師・中堅看護師がたくさんいることに驚きました。

若者の政治参加を促すために、若者の視点も踏まえ、活動内容を工夫し、和歌山県看護連盟をより一層見魅力的な会としていけるよう努めていきます。



青 年 部 活 動 状 況



青年部
会議風景

青年部では月1回会議をしています。

今年はオンライン会議ばかりでしたが、メンバー全員ではありませんが、久しぶりにリアル会議ができました。

現場の声を国政に届けるために、普段の業務上の問題や今後の研修計画や組織力強化に向けてなど話し合いました！

委員会活動紹介

看護政策・組織拡大委員会



和歌山県看護連盟 看護政策・組織(選挙)拡大委員会 大浦 泰代

看護政策・組織拡大委員会では、令和3年度のスローガン『届けよう看護の声を！私たちの未来へ』を受け、看護の声を看護職代表の国会議員、看護に「理解のある国会議員・地方議員や行政に働きかけ、政策に反映させて課題解決の軽減・解決へと導き要望を実現できるように活動しています。

令和2年1月から新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、看護職は、専門職としての使命感と責任感を持ち患者に向き合っています。

委員会の活動内容の一部をご紹介します。たかがい恵美子元参議院議員が衆議院選挙に出馬する前の5月と8月にオンラインで意見交換会を開催し、国会での活動報告を伝達していただきました。委員会としては、医療の現場からは、コロナ感染対策に関しては、会員施設だけでなく非会員施設にも、医療材料不足状況の調査を行い、その結果を基に県会議員と意見交換会をして、医療材料不足の現状を報告し改善の要望をしました。その他、看護職の精神的疲労の蓄積など実際の声を直接届けながら情報提供をしました。



毎月の委員会では、看護職が働き続けられるシステム作りを構築していくことが重要であることを話しあい、子育て・介護についての現状を共有し要望を考えています。また、青年部と連携しながら、若い年代からも政治に興味を持ってもらえるよう看護学生の会員獲得も検討しています。さらに、新規会員増にむけ、活動から得られる恩恵やメリットを追加し、看護連盟の存在意識をアピールしていく必要もあると考えています。

また、育休明けで職場に復帰した若い看護師に再加入を勧めて貰えるよう、施設にもご協力をお願いしたいと思っています。

看護職の処遇などを根本的に改善し、魅力のある職業として認知され、国民の生命と健康を守るために、選挙活動にも積極的に参加し、投票行動をすることが必要です。

これからも、看護政策・組織拡大委員会の役割として、みなさんの「現場の声」をタイムリーに地方議員や国会議員に届けていきます。今後とも、連盟活動へのご協力をよろしくお願いいたします。



都道府県別会議を開催して

和歌山県看護連盟 看護政策・組織拡大委員 高岸 壽美

第25回参議院選挙総括から和歌山県の課題解決への対応策を明確にすることと、日本看護連盟選挙方針を実施し、県・支部別の獲得目標数達成の戦略を立てるために3月12日(土)10時~12時に日本看護連盟とオンラインで開催された。県看護連盟及び県看護協会の役員や関係者19名が会場とリモートで参加し、日本看護連盟大島会長と長沢常任幹事と共に和歌山県の活動戦略について検討し、具体的に行動に関する示唆を得た。

第25回選挙後の結果と意識調査をみると、20歳代の棄権率56.1%。30歳代36.5%であり、投票しない主な理由は「仕事が忙しく時間がなかった」「政治や選挙に興味がない」であった。「看護職として自分たちの現場を変えるには自分たちが動かなければならない」という自覚をもって投票することを強く促していく。これには管理職の担う役割も大きく、投票行動を確認することも一方法である。政府が「看護職の給与改定に取り組む」と明言する千載一遇のチャンスを活用できるよう組織内代表者を応援する使命を確認した。



2021年度 日本看護連盟通常総会に参加して

和歌山県看護連盟 副会長 岩橋 杉子

コロナ禍や組織内の様々な課題の解決が進まないことで、通常総会開催が延期されてきましたがようやく、2022年2月25日(金)ザ・プリンスパークタワー東京で会場参加人数も制限される中で開催され全てのプログラム内容が承認されました。議員さんたちの挨拶はほとんどがビデオメッセージでした。その後、第26回参議院選挙の看護の組織内候補予定者として「ともものう りお」さんが決定し決起大会がもたれました。今後も看護政策実現に向けて、更に国会議員の擁立や全国で活躍される連盟会員地方議員29名の方々との連携も深め活動を深めていきましょう。



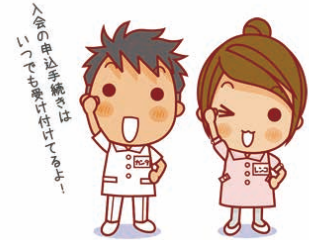


会員入会受付中!



看護連盟の活動を支えるのはあなたです。
会員一人ひとりの行動が、目的達成の原動力、
あなたの参加を期待します。

和歌山県看護連盟に
あなたも入会しませんか?



和歌山県看護連盟では、令和 4 年度の
会員・特別会員・賛助会員の入会を受け付けています。多数の入会をお待ちしています。

日本看護連盟は、国民の健康の守り手として働いている、保健師、助産師、看護師、
准看護師の団体です。日本看護協会の会員であれば、誰でも連盟会員になれます。

和歌山県看護連盟
ホームページ▶



編集 後記

この度、和歌山県看護連盟のホームページをリニューアル
しました。またスマートフォンからの利用も可能となっ
ており、使いやすく快適にご利用いただけます。最新の情報を
掲載するホームページを目指しますので、どうぞよろしく
お願い申し上げます。
(広報委員一同)



東洋羽毛

睡眠セミナー無料サービスのご案内

よく眠った人には、かなわない。

※— 今よりもぐっすり、幸せな毎日のためのヒントがきっと得られるはずです —※

睡眠セミナー講師を無料で派遣いたします。

東洋羽毛では「睡眠健康指導士」の資格を有した社員が
講師を務める充実したセミナーをご用意しています。
正しい情報を得て睡眠習慣を見直し、イキイキと健康的な
毎日を歩むお手伝いをさせていただければ幸いです。

《お役に立てる主な研修》

- ★ 医療安全対策研修
- ★ メンタルヘルス研修
- ★ 学校保健委員会
- ★ 高齢者の睡眠ケア

水と、空気と、睡眠と。



東洋羽毛イメージキャラクター 桃井かおりさん



東洋羽毛関西販売株式会社

和歌山営業所 和歌山県和歌山市吹屋町3-44-2



お気軽にお問合せください。

0120-32-7766